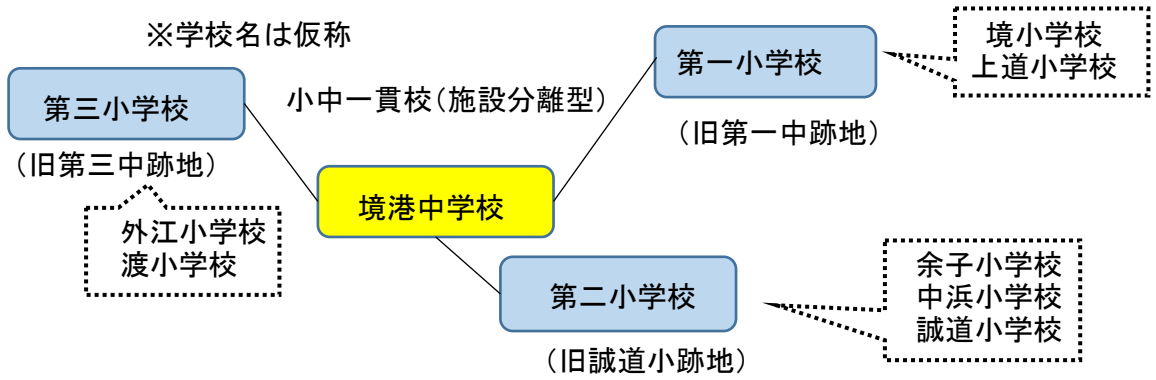
小中一貫校（義務教育学校）のシミュレーションについて

【パターン1】1中学校・3小学校の小中一貫校（施設分離型校舎）

①3中学校を、第二中学校に統合する。（境港中学校）
②境小学校、上道小学校は、第一中学校跡地に新校舎を建築して統合（第一小学校）
③渡小学校、外江小学校は、第三中学校跡地に新校舎を建築して統合（第三小学校）
④余子小学校、中浜小学校は、誠道小学校を新築または増築して統合（第二小学校）



	2025年	2040年	2060年	境港中学校との距離
第一小学校	427⑱	327⑫	226⑫	直線距離で約2．3Km
第二小学校	545⑱	417⑫	289⑫	直線距離で約400m
第三小学校	443⑱	368⑫	234⑫	直線距離で約1．5Km
境港中学校	721㉑	551⑱	380⑫	

※〇の数は推定学級数

《メリット》

・小学校3、中学校1となり、施設管理のコストは下がる。
・40～50年先になっても、ある一定の児童生徒数が確保できる。

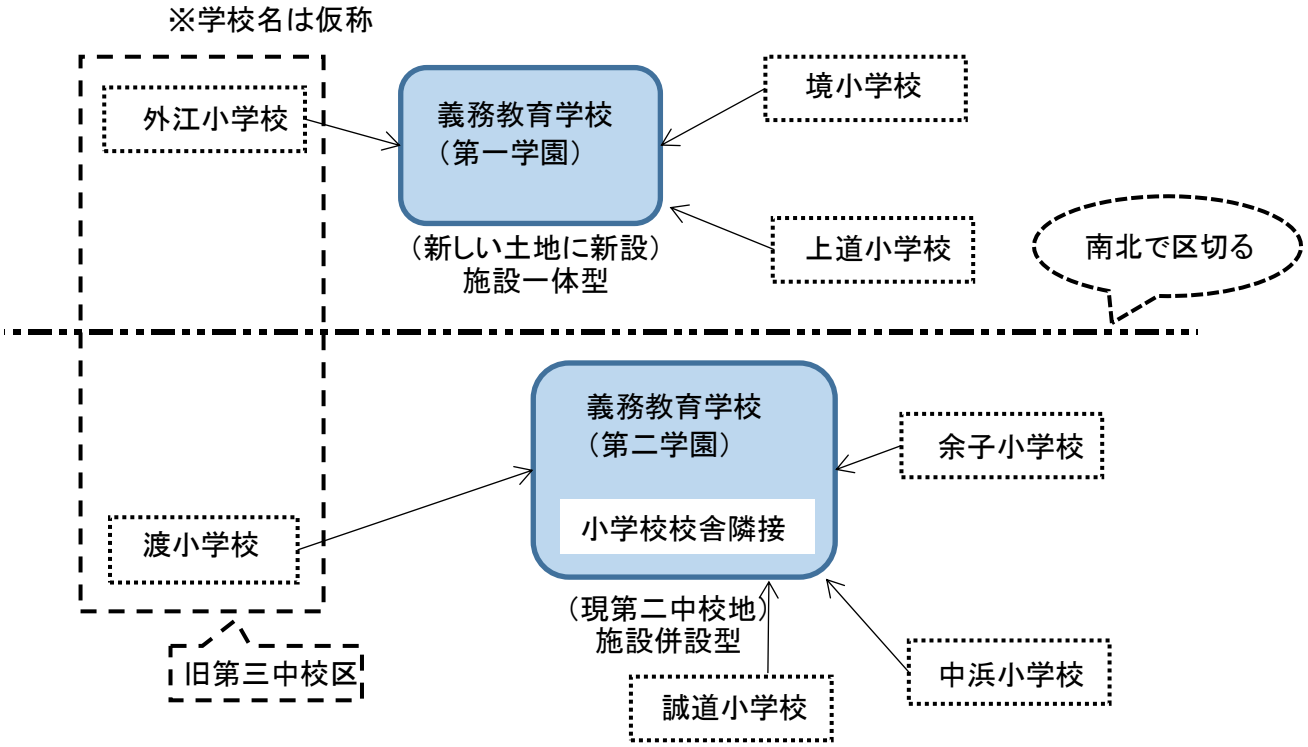
《デメリット》

・25年後あたりまでは、中学校の規模が大きく、現在の第二中学校では教室数が足りないので、校舎の増設が必要。
（現在の第二中学校の教室数は、各学年5学級まで対応可能）
・25年後あたりまでは、各小学校および中学校も児童生徒数がある程度多いので、児童生徒の交流や合同行事が難しい。
・児童生徒が交流する場合は、移動時にバスを使う必要がある。
・1対3の分離校のため、教員の相互乗り入れが難しい。また、乗り入れに係るカリキュラムの編成も難しい。

・小中連携のための会議等について、4校間で調整するのが難しい。
・小中一貫教育について、推進コーディネーター等を置くなど、人的な加配や工夫のある連携をやらなければ、一貫教育の効果は高まらない。
・中学校（中学部）の校区は市全体になり、学校と地域（コミュニティー）のつながりを作りにくい。

【パターン2】2つの小中一貫校又は義務教育学校（施設一体型・併設型校舎）

①境小学校、上道小学校、外江小学校、第一中学校を統合し、新校舎を建築する。
　（新築場所は、消防署近くの中野町あたりとする。）
②余子小学校、中浜小学校、誠道小学校、渡小学校を統合し、第二中学校の校舎に隣接して小学校を建築する。



		2025年	2040年	2060年
第一学園	小学部	654㉔	500⑱	346⑫
	中学部	327⑫	249⑨	174⑥
第二学園	小学部	761㉔	582⑱	403⑫
	中学部	381⑫	291⑨	201⑥

※〇の数は推定学級数

中学部の人数は、小学校の学年の数を基に推計を予想

《メリット》

・義務教育学校が2校になり、施設管理のコストは下がる。
・40～50年先でも、ある一定の生徒児童数を確保できる。
・「4・3・2制」等の中一ギャップや発達段階を考慮した教育課程を実施しやすい。
・職員室を一つにし、教職員の協働、情報交換、授業乗り入れが円滑に行える。

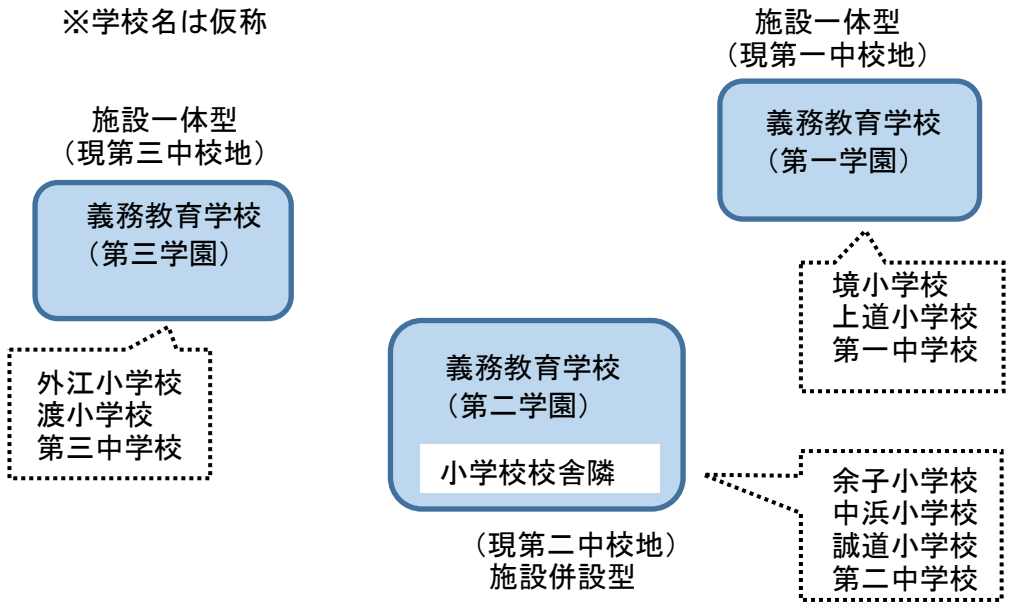
《デメリット》

・25年後ぐらいまでは、小学校は1学年6学級と規模が大きく、学校全体の人数が多いため大きな校舎が必
・25年後ぐらいまでは、学校規模が大きいため、一貫校として教員の乗り入れが複雑になる。（小回りがきかない）また、小中の合同行事を行うのも難しい。
・学校より遠い地区では、登下校にスクールバスが必要になる。
・現第三中学校の校区が、南北で区切られ、新たな校区に編入されることの難しさ。
・校区が広がり、学校と地域（コミュニティー）との強いつながりをつくることが難しい。
・学校への通学が長くなる児童について、バス通学許可、スクールバスによる送迎の配慮が必要。

【パターン3】3つの小中一貫校又は義務教育学校（施設一体型・併設型校舎）

①境小学校、上道小学校、第一中学校を統合し、現在の第一中学校地に新校舎を建築する。
②余子小学校、中浜小学校、誠道小学校を統合し、第二中学校の校舎に隣接して小学校を建築する。
③渡小学校、外江小学校、第三中学校を統合し、現在の第三中学校の校地に新校舎を建築する。

※学校名は仮称



		2025年	2040年	2060年
第一学園	小学部	427⑱	327⑫	226⑫
	中学部	240⑨	183⑥	127⑥
第二学園	小学部	545⑱	417⑫	289⑫
	中学部	254⑨	194⑥	134⑥
第三学園	小学部	443⑱	368⑫	234⑫
	中学部	227⑨	173⑥	120⑥

※〇の数は推定学級数

《メリット》

・校舎一体型および併設型なので、9年間を見通した小中一貫教育の効果が最も期待できる。
・職員室を一つにし、教職員の協働、情報交換、授業乗り入れが円滑に行える。
・「4・3・2制」等の中一ギャップや発達段階を考慮した教育課程を実施しやすい。
・小中の交流や、合同行事にも取り組みやすい。
・学校数が3つなので、施設管理のコストも下がる。

《デメリット》

・40年後あたりから、中学部の人数が少なくなり、その後学年1学級になる可能性もある。
・学校への通学が長くなる児童について、バス通学許可、スクールバスによる送迎の配慮が必要。